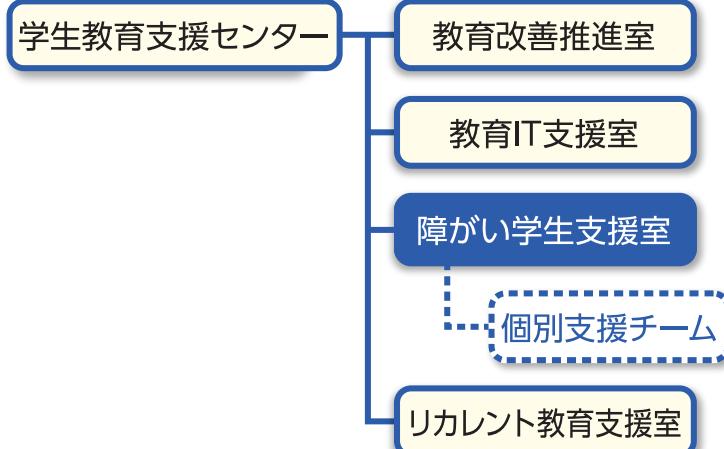


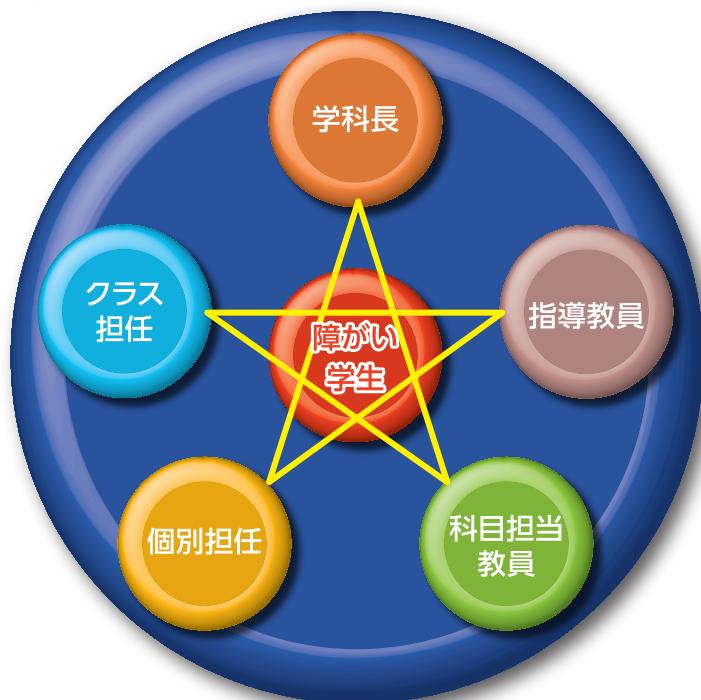
支援体制

ー組織図ー



ー個別支援チームー

障がいのある学生から支援の要望があると、障がい学生支援室の下に学科長、クラス担任、個別担任、授業担当教員、指導教員等から構成される個別支援チームを組織し、支援内容を検討して実施します。



学生スタッフ募集

障がい学生支援室では、一緒に障がいのある仲間を支援してくれる学生スタッフを随時、募集しています。事前講習も実施しますので、未経験の人でも安心して活動に参加することができます。皆さんの授業に影響しないよう、シフトへの配慮も行います。障がいの状況は個々により異なりますので、皆さんと一緒に仲間の支援のあり方を模索しながら、考えていきたいと思います。

〈支援内容〉

- 板書や教材の読み上げ
- 映像教材文字起こし
- ノートテイク、PCテイク
- 車椅子の学生等の移動補助
- 代筆

お問い合わせ先
北見工業大学障がい学生支援室
(受付窓口 北見工業大学学生支援課学生支援係)
TEL 0157-26-9183 FAX 0157-26-9185
E-mail gakusei09@desk.kitami-it.ac.jp

北見工業大学

障がい学生支援室

since 2014

のご案内



KITAMI

Institute of Technology

支援方針

北見工業大学では、障がいのある学生が不自由を感じることなく、少しでも充実した学生生活を送られるよう、『合理的配慮』を考慮した支援を行います。

その相談窓口として平成26年4月から「学生教育支援センター」の下に「障がい学生支援室」を設置しており、エレベーター、スロープ、車椅子で利用できるトイレ、学内の施設の整備も進めています。

～『合理的配慮』とは～

障がいのある学生と他の学生との平等を基礎とし、障がいのある学生が全ての人権及び基本的自由を享有し行使できるよう、他の学生との公平性や支援の実現可能性等に配慮しつつ、必要かつ適当な範囲において物理的環境への配慮や、ルールの柔軟な変更及び調整等を行うことを言います。

考えられる支援

障がい	考えられる支援
視覚障がい	教室や座席の配慮、補助具持込許可、移動時間や筆記時間の配慮、代筆、課題提出方法の変更、板書や教材の読み上げ、拡大資料や電子データの提供、映像教材文字起こし、試験方法や時間の配慮など
聴覚障がい	座席の配慮、資料配布、ノートテイク、PCテイク、筆談、口話、リスニング授業の配慮、指示の書面伝達など
肢体不自由	移動補助、教室・座席の配慮、移動時間や筆記時間の配慮、PC使用許可、休憩場所やロッカーの提供、TA配置、実験・実習・体育の配慮、試験方法や時間の配慮など
病弱・虚弱	教室や座席の配慮、途中入退室の配慮、通院の配慮、補食の配慮、休憩場所の提供、実験・実習・体育の配慮など
発達障がい	連絡窓口一本化、指示の書面伝達、チューター配置など

支援の流れ

【まずは、学生支援課窓口に相談】

(最初は電話やメールでもOK)
受付時間:平日8:30~17:15



【支援室員と面談】

障がい学生支援室の室員が困りごとや支援要望を伺います。



【支援内容の決定】

面談結果を踏まえ、障がい学生支援室の下に個別支援チームを組織して支援内容を話し合い、後日、決定した支援内容をお知らせします。



【支援開始】

困ったり、悩んだりしていませんか?
心あたりがあったら、支援室へGO!!

- ・視野が狭く、不安を感じる。
- ・友達が近づいているのにその気配に気付かない。
- ・食べられない食べ物がある(食物アレルギー)。
- ・歩行に不自由を感じる。
- ・授業中にてんかんを起こす可能性がある。
- ・定期的にインスリン投与をしなければならない。
- ・レポートが書けず、提出期限に遅れてしまう。
- ・実験やゼミがある日は気が重い(グループでの作業や手順を覚えたり、発表内容を考えるのが苦手)。
- ・履修登録は複雑で一苦労だ。
- ・文字の読み書きに時間がかかる。
- ・板書を写したり、メモをとるのが苦手。
- ・聞き漏らしたり、言われたことが理解できない。
- ・その場では分かったつもりだが、すぐに忘れてしまう。
- ・言いたいことをうまく言えない。
- ・不安になって何度も同じことを確認してしまう。
- ・白黒はっきりさせないと気が済まない。
- ・話題を合わせられない。
- ・周りに人がいると気が散って、集中できない。
- ・疲れるまで頑張り過ぎてしまう。
- ・コミュニケーションがとりづらいと言われる。
- ・空気が読めず思ったことをすぐ言ってしまう。
- ・生活が不規則になりがち。